

Rotary

2021-2022年度 国際ロータリーのテーマ



華仕しよう みんなの人生を豊かにするために
2021-2022年度 国際ロータリー会長
シェカール・メータ
RI2630地区 岐阜東濃グループ



本日の例会プログラム

1. 開会点鐘
2. ソング「手に手つないで」
3. ゲスト、ビジターの紹介
4. 出席報告、ニコボックス発表、委員会報告
幹事報告
5. 会長の時間
6. 理事・委員長就任挨拶
7. 閉会点鐘



東濃8クラブ行事予定

- ・中津川センターロータリークラブ
8月 9日(月)法定休日
8月16日(月)盆休会
8月23日(月)納涼家族例会 勝宗
- ・瑞浪ロータリークラブ
8月13日(金)お盆休みの為休会
8月30日(月)2RC合同ガバナー公式訪問
- ・多治見リバーサイドロータリークラブ
8月10日(火)お盆休み
8月24日(火)→26日(木)ガバナー公式訪問
- ・土岐ロータリークラブ
8月 9日(月)振替休日の為休会
8月16日(月)お盆休み
8月30日(月)2RC合同ガバナー公式訪問

今後の例会予定

- 8月 5日(木)普通例会 理事・委員長就任挨拶/会長担当
12日(木)納涼花火大会へ移動
19日(木)→13日(金)おいでん祭へ移動 → 中止
26日(木)普通例会「卓話」 /会員増強委員会担当
波多野会員増強委員長「コロナ禍での会員拡大について」
※8月度定例理事会13:35～

委員会その他の行事予定

- 9月 2日(木)第1回CLP委員会 13:35～ 2F小会議室
9月19日(日)64期第1回親睦ゴルフコンペ
ユーグリーン中津川ゴルフ倶楽部

地区・その他行事予定

- 9月 7日(火)浦田ガバナー公式訪問 ホスト: 恵那RC
恵那峡グランドホテル 11:30～12:20食事 12:30点鐘

友愛の席

【レモン栗苞】

栗苞の葛に瀬戸内レモンを加えさっぱり爽やかな味わいに仕上げました。 松月堂



メイキャップをしましょう

- ★事前に訪問先のクラブに出席する旨を連絡し参加する事ができます
- ★訪問先のクラブが移動例会などで定刻に不開催の時は、例会場に備え付けられた名簿に記名するなどにより出席した事になります
- ★会報に他クラブの予定を掲載しておりますので参考にしてください
- ★メイキャップの申告は事務局までお願いします



ハス 花言葉「清らかな心」7月下旬市内阿木にて 撮影 原 眞平君

例会日 木曜日
会場・事務所 中津川市かやの木町1-20
中津川商工会議所3F

Tel.0573-66-9933 Fax.0573-66-8766
E-mail:n-rc@takenet.or.jp
HP:http://nakatsugawa-rc.jp

会長 齊藤 隆
幹事 鈴木 康之
会報 松田 幸博

就任挨拶

情報・研修担当グループ理事 松田 幸博君



64期、情報研修担当グループ理事を務めさせて頂きます。情報研修委員会は、引き続き林彰パスト会長に委員長を務めて頂き、「ロータリーの友」や「月信」の情報提供を行って頂きます。

会報発行委員会では、本年度「知ろう」をテーマに取り組んでいきたいと思っております。今まで通りロータリークラブの情報はもちろんのこと、知っていそうであまり知らない会員各位の事業所や業界のこと、これから社会が取り組んでいかななくてはならないSDGsなど、折に触れて発信していこうと考えています。また、原眞平パスト会長、鈴木力パスト会長はじめ、会員の皆様方にも紙面充実のため、ご協力をお願いしたいと考えております。微力ではありますが、一年間よりよい会報にするため努力をしております。何卒、ご理解、ご協力をお願い申し上げます。

例会運営担当グループ理事 鳴海 伸明君



中津川ロータリークラブ第64期例会運営委員長を齊藤会長よりご指名をいただきました。第58期会長を務めて以来の役員で緊張感を持って進めさせて頂きます。

委員会事業については、

1、1年間の例会運営であります。ロータリークラブの活動は例会で始まり、例会で終わるともいわれ重要な活動です。齊藤会長はロータリークラブの会員は異業種の集まりでありそれぞれの業界の情報提供の場としたいと発言されておられます。またロータリアンは地域を代表する経済人であり地域の情報提供の場でなければなりません。会員の皆さんのためになる例会運営に務めます。

2、例会をはじめすべての活動の出席率を上げるための対策を検討いたします。会員の皆さんにも声のかけあいのご協力をお願いします。

3、一回の卓話担当を会員の皆さんの必要とする話題を提供します。

以上1年間、間龍一郎君、吉川義康君と共に進めてまいります。皆様のご協力をお願いします。

会員奉仕担当グループ理事 志津 竜良君



本年度、会員奉仕担当グループ理事にご指名を頂きました志津です。

親睦委員会では齊藤 隆会長のクラブテーマ「ロータリー精神で 未来を創造しよう」をもとに活動し、会員同士の親睦をより一層図れるように各委員会

と連携し例会や各種行事を明るく楽しく行う方針であります。

ただ昨年からのコロナ感染症の影響でいまだに従来の形で例会を行うことができておりません。現在は食事券をお配りして例会のみを行っていますが、何とか例年通りこの会場で弁当を食べていただいて例会をおこなう形に戻せないかと試行錯誤をしております。

そこで、まずは2階の会議室にてアクリル板等のパーテーションを設置して、そこで弁当をそれぞれで食べていただき、その後例会を行う方式を取りたいと考えております。

ただし、2会場で行う形となりますので今まで以上に親睦委員会の会場設置の負担が増える形となります。しかし、今年度は新入会員もほとんどなく、親睦委員会の人数は今年の半分ほどとなってしまっているため誠に申し訳ありませんが、皆様にも会場設営のお手伝いをお願いしていただきたいので、その節はよろしく願いいたします。お願いばかりになってしまいましたが皆様のお力添えを頂き1年間頑張っておりますのでよろしくお願いいたします。

社会奉仕担当グループ理事 後藤 大作君



新型コロナウイルスの蔓延は当たり前前の活動を止めました。社会が、人が他人を思い他人のために行っていた行動も止まりました。このような時代だからこそ、齊藤会長のスローガン「ロータリー精神で 未来を創造しよう」

に沿って、改めて未来の為の社会奉仕活動を行う必要があります。

社会奉仕活動は過去の事業見てもいろんな切り口があります。今年の社会奉仕委員会としての切り口は青少年育成です。対象は「中津川市少年少女合唱団」です。改めて青少年育成の組織の活動の確認と組織の再生を目的に例会と事業を行います。

地域活動委員会については、佐藤委員長のもとに例会卓話と東濃歌舞伎鑑賞を行っていただきます。どうか皆さまのご協力をよろしくお願い致します。

職業奉仕担当グループ理事 前田 雅生君



第64期中津川ロータリークラブ齊藤会長のもと、職業奉仕担当グループ理事として一年間お世話になります。

初めての理事で委員長を仰せつかりロータリーとしても知識不足の点が多くありますが会員皆様にご支援、ご指導をいただきながら活動して参りたいと思います。

クラブテーマであります「ロータリー精神で 未来を創造しよう」をもとに、職業奉仕について再確認とともに社会の大きな変化に対応し未来に向けた職業奉仕を考えていきたいと思ひます。コロナウイルス感染状況が完全に収束していない状況下でのスタートとなり、ワクチン接種の進捗状況次第の部分ではありますが、「出前講座」や「職場訪問」も含めどうすれば出来るかを考えながら進めていきたいと思ひます。

小川委員長率いますIDM委員会につきましては年間4回の開催を予定し、親睦を図る場として多くのメンバーの参加をお願いいたします。

最後になりますが、まだまだ未熟な私ですが、自分自身でもロータリー活動に少しでも多く参加出来るよう努力し、また、皆様に参加して良かったと思われるように活動して参りたいと存じます。

特命担当グループ理事 桂川 邦俊君



本年度齊藤会長より特命担当グループ理事を拝命いたしました。桂川です。

64期の特命担当グループの事業は65期中津川ロータリークラブが今後周年事業をどのように取り組んで行くのか等の方向性を考えていく課題と、その下準備をしていく任務を頂いております。スムーズに65周年事業を進められる様に、それぞれの関係者と密に連携を取り、進めてまいりたいと思ひます

また、委員会メンバーは、各委員会の副委員長で構成されているので、各委員会とのコンセンサスを取り、本年度のテーマ「ロータリー精神で 未来を創造しよう」のもと、事業が進んでいるかを確認しつつ、各委員会事業と一緒に行動を共にしていく事がこの委員会の使命だと思ひます。

最後になりますが会員の皆様のご指導ご鞭撻を頂き精一杯一年間務めさせていただきますのでよろしく願ひいたします。

前回の記録 7月15日

出席報告



例会運営委員 吉川義康君

ホームクラブ出席率	41 / 65	63.08%
7月8日補正出席率	43 / 66	65.15%

7月8日 会員総数71名、出席免除者5名
7月15日 会員総数71名、出席免除者6名

メイキャッフ

7月9日 三重扶倫社ZOOM会議

齊藤隆君、田口義也君、酒井康孝君、山本亮君、坂巻裕史君、三尾泰一郎君、鈴木康之君 協力者：劉 曉川君

ニコボックス



親睦委員 成瀬元伸君

本日の申告38.0ポイント (累計161.0ポイント)

★本日はよろしくお願ひ致します。
東濃グループガバナー補佐 山田幹雄君
★本日はよろしくお願ひ致します。
東濃グループガバナー補佐幹事 中島功雄君
★岐阜東濃グループ山田幹雄ガバナー補佐並びに中島功雄ガバナー補佐幹事のご来訪を心より歓迎致します。本日の卓話並びにクラブアッセンブリー宜しくお願ひ致します。 会長 齊藤隆君、副会長 佐藤好哉君 幹事 鈴木康之君

★少し文章が長いので、次回ウイークリーをご覧下さい。(本日の別紙会員ニュースをご覧ください。) 可児 力君

国際奉仕担当グループ理事 坂巻 裕史君



本年度、国際奉仕担当グループの理事を拝命致しました。1年間どうぞよろしくお願ひいたします。

国際交流委員会のメイン事業は11月5日～7日の台湾三重扶輪社への訪問です。

そして次年度は三重扶輪社60周年を迎える年度。1969年に姉妹提携の調印を交わし、先輩諸兄が築き上げた両クラブの絆を大切に、齊藤会長が掲げる「ロータリー精神で 未来を創造しよう」に則って事業開催を進めて参りたいと思ひます。

昨年度は新型コロナウイルスの影響で来日歓迎例会の開催が出来ませんでした。本年度も、しっかりと齊藤会長の下、安心安全を確保できる状態での訪問が出来たらと思ひます。

国際奉仕担当グループは市岡財団担当委員長、安藤米山奨学委員長と連携を深めて参る所存です。皆様のご指導ご鞭撻をよろしくお願ひ致します。

- ★山田ガバナー補佐並びに瑞浪ロータリークラブの皆様のご来訪を歓迎申し上げます。ご指導をよろしくお願いいたします。
吉川義康君
- ★山田AGの来訪を歓迎致します。補佐卓話謹んで拝聴致します。
吉村敏博君
- ★「ガバナー補佐をお迎えして」同期です。本日は宜しくお願ひ致します。
鈴木正樹君
- ★やまちゃんようこそ中津川へ、ご指導お願ひ致します。
波多野一夫君
- ★山田幹雄ガバナー補佐のクラブ訪問ありがとうございます。一年間のご指導宜しくお願ひします。
長野和夫君
- ★山田ガバナー補佐ご来訪ありがとうございます。林 彰君
- ★新会員伏見君ようこそ中津川へ歓迎致します。山田幹雄ガバナー補佐、中島補佐幹事今日はありがとうございます。後ほどクラブアッセンブリー宜しくお願ひします。
田口義也君
- ★山田ガバナー補佐の来訪を歓迎致します。卓話のしみにしています。
鳴海伸明君
- ★山田AG、本日宜しくお願ひします。
酒井康孝君

山田幹雄ガバナー補佐 クラブアッセンブリー

2021. 7. 15 商工会議所2F役員室



山田幹雄ガバナー補佐



中島功雄ガバナー補佐幹事



齊藤 隆会長

7月15日(木) 13:40~15:00

【出席】

中津川RC : 21名

山田幹雄ガバナー補佐

中島功雄ガバナー補佐幹事

新会員入会式 伏見文明君

株式会社十六銀行中津川支店



伏見文明君

推薦者
鳴海パスト会長

齊藤会長

伏見文明君



長野和夫君

田口義也君

酒井康孝君

山本亮君

松田幸博君



林 彰君

鳴海伸明君

志津竜良君

波多野一夫君

前田雅生君



小川剛弘君

小栗祐治君

佐藤均君

坂巻裕史君

市岡孝之君



安藤正樹君

桂川邦俊君

藤本文人君

伏見文明君

鈴木康之君



山田幹雄ガバナー補佐訪問例会

2021. 7. 15 商工会議所3F



山田幹雄ガバナー補佐



DVD上映にて卓話



会員ニュース



デジタル技術で人材不足の課題を解消

Y K P (ワイ・ケー・ピー) 工業株式会社

可児 力君

★7月15日 (木) 可児 力君 ニコボックスより

令和3年5月28日に厚生労働省、経済産業省、文部科学省連携作成の、ものづくり基盤技術振興基本法第8条に基づき、国会提出された令和2年度の基盤技術の振興施策、いわゆる「ものづくり白書」が閣議決定され国会承認を受けました。

平成13年から発行で今回は21回目となります。この中の第1部第2章第1節「デジタル技術の進展に対応するものづくり企業の取組」紹介部に、令和2年度に全国で行った政府資金「ものづくり補助金」を活用した(1)デジタル技術の活用により、労働生産性の向上や業務効率化を実現した好事例として全国で13社が採択されました。私共も弊社事例をコラムとして掲載されました。まもなく各官公庁に配布されます。機会がございましたらご一覧下さい。

又、ほぼ同時期に岐阜県・県商工会議所連合会他5団体で校正された「スマート産業支援機関連携会議」により県「ものづくり補助金」を活用した好事例紹介書『岐阜県IoT活用・支援事例集』現場で役立つ「IoTの参考書」の中で私共を含め県下11社のIT化、IoT、AI活用、ロボット等の事例が掲載されました。これも機会がございましたら、各県事務所、会議所、商工会等にてご一覧下さい。

スマート産業支援機関連携会議
岐阜県IoT活用・支援事例集



SOFTOPIA JAPAN

スマート産業支援隊



▲ IoT機器の活用による改善に関するミーティング



▲ 主力製造設備である射出成形機が並ぶ工場

03

プラスチック部品製造
ワイ・ケー・ピー工業
株式会社

射出成形工程のIoT化により

コストダウンと品質向上を両立!

これで解決!



Point.1 成形工場内にある全31台の設備にIoTを導入!

Point.2 設備の監視・保守・制御・分析が可能に

Point.3 リアルタイムな情報共有と社内体制の強化

IoT活用の成果

- ★ 製造記録・実績・作業日報の電子化による作業効率向上、稼働状況のリアルタイム監視、金型保守管理が確立した。
- ★ ポカミス低減(240万円/年)、段取り時間短縮(1,152時間/年)などを達成した。
- ★ 今まで出来なかった慢性不良の改善に取り組む時間が取れるようになり、不良率の低減、材料使用量の削減、電気使用量の削減を達成し、工場全体でのコストダウンを図り、品質を向上させた。

コラム

デジタル技術の活用で人材不足の課題を解消
・・・ワイ・ケー・ピー工業(株)

ワイ・ケー・ピー工業(株)(岐阜県中津川市)の可児力社長は、「中小企業こそデジタル技術の活用が必要だ。」と語る。同社は主に、自動車内外装品に使用されるプラスチック部品の製造を手がけ、金型の設計・製造からプラスチック射出成形、そして表面処理や組立加工までを自社で完結させる「一貫生産体制」を強みとする企業である。

同社を取り巻く環境は厳しい。長期的にみると少子化や若者の車離れなどの影響による国内の自動車生産数の減少に伴って、市場規模が縮小していく懸念があるからだ。このため、生産性の向上を図り、事業の間口を広げていく必要がある一方で、人材の採用環境が厳しい状況が続いている。限られた経営資源の中で、効果的に事業を拡大していくために、同社では作業工程のデジタル化を進めている。射出成形の工程にIoT技術を導入し、これまで従業員が「成形材料投入記録・乾燥機点検表」や「作業日報」などに手書きで記入していた作業を自動化した。このDXの取組を推進したのは、品質・工程改善BR(Business Revolution)室長の伊佐次氏である。前職は、電気機器メーカーの自動制御を扱うエンジニアであったが、そこでの職務経験で培ったPLC(機器を制御するコントローラー、シーケンサー)と電気機器に関する知識・技能が大いに役立った。

取組当初、電気機器メーカーのIoTシステムを購入することを検討したが、大きなコストが掛かるため導入困難と判断し、公的な補助金を活用しながら自社開発に踏み切った。既製品の購入と比較し安価で導入できることや、自社の状況に合わせた改善や改良にも柔軟に対応できるところにメリットがある。

現在は3つの工場内の31台の成形機が社内LANに接続され、運転・停止・異常などの稼働状況や生産数・不良品数・稼働時間などの生産状況を、従前より工程改善で使用している汎用のPLCに接続したセンサーから数値として取得、記録している。さらに、その記録データを表計算ソフト上で可視化し、監視、分析できるシステムに発展させた。IoTの導入後は全ての成形機において、金型ごとに成形数を自動集計し、金型のメンテナンス時期を知らせるアラーム表示を行うことで年間960時間の時間短縮につなげた。また、2017年のIoT導入前と比較して、成形不良を20%低減する成果も出ている。

このように、現場の省力化に成功したことで受注の間口が広がった結果、計測器などの自動車部品以外の新たな分野の製造にも着手した。また、工場内のIoT化が進んだことは、社員同士の情報共有の活性化という効果ももたらした。社員からの積極的な改善案を都度取り入れることで、更に機能的なシステムへと進化し続けている。



写真：社員同士が情報共有を行う様子



写真：自社開発した装置

金型品番	稼働状況	910	35612-31730	725
901 35610-42400-2	稼働	911	35614-34010	726
902 35612-44610	稼働	912	35614-34020	727
903 35612-44620	稼働	913	35615-70000	728
904 35615-32000-5	稼働	914	35715-48510	729
905 35612-32000	稼働	915	---	730
906 35617-41000-1	稼働	916	35612-45010	731
907 35612-17020	稼働	917	35612-48401	732
908 35612-17020	稼働	918	35612-48400	733
909 35612-21900	稼働	919	21402-32400	734
		920	21402-42400	735

写真：金型のメンテナンス時期を知らせるアラーム表示

「今後は製品の出入庫管理にもバーコードリーダーを活用していくなど、今までは紙で行っていた作業をデジタル技術に置き替えることで、自社内のサプライチェーン全体の見える化に取り組みたい。」と可児社長は語る。

身の丈にあったデジタル技術の活用が、人材の採用が難しい環境下であっても、顧客の要求に応え競争力を高めながら、人材の待遇改善を実現することにつながっている。